

広島平和体験事業

今年は平和記念式典にも参加

日程

1日目 8月5日(金)

阿久比駅集合 - 阿久比駅 - 名古屋駅 - 広島駅 - 平和記念公園 - 被爆者との懇談(広島市青少年センター) - 広島駅 - 福山駅 - ホテル

2日目 8月6日(土)

ホテル - 福山駅 - 広島駅 - 平和記念式典 - 広島平和記念資料館 - 国立広島原爆死没者追悼平和祈念館 - 広島駅 - 名古屋駅 - 阿久比駅 - 阿久比駅解散



中央公民館本館で行われた広島平和体験・海外家庭生活体験事業報告会(9月20日)

阿久比中学校の一年生八人が八月五日と六日の二日間、広島平和体験事業に参加しました。
広島平和記念資料館や原爆ドームなどを見学したり、被爆者との懇談を通して核の怖さ、戦争の悲惨さを学びました。



被爆者の芳野さんを囲んで

今年、原爆が投下された日(昭和二十年八月六日)と同じ日に、体験事業が計画されたこともあり、平和記念式典にも参加し、途切れることのない人の列を見て驚き、あらためて平和の尊さや平和を守ることの大切さを認識しました。
生徒たちは、一年生全員で作った折鶴を持参し、平和を祈念して平和記念公園に納めました。

広島平和体験事業に参加した中学生に聞きました

A 広島を訪れた感想は。
Q 原爆ドームは、テレビや本で見

るよりも、残骸が多く、コンクリートがむき出しになっていて、原爆の恐ろしさを感じました。



原爆ドーム

資料館には、肌がただれた人の模型や、原爆投下時刻に止まっている時計などが展示されていて、思っていたよりも悲惨さが伝わり、その場所にいるのが怖くなりました。
多くの人が平和運動に参加しているのには驚きました。
戦争や原爆投下が日本の中で行われてきたことなので、みんなが忘れないように、広島で見た戦争の悲惨さを仲間伝えていくつもりです。